

**あれから 3 年...
アフガニスタン・イスタリフ村から若手陶工 2 名が来日します**

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)では、12月1日(月)より12月20日(土)までの期間、アフガニスタン・イスタリフ村から陶工 2 名を日本に招きます。

住居や工房の破壊、熟練工の戦死などに見舞われた陶芸の村イスタリフ。戦乱により村を離れることを余儀なくされ、ようやく故郷に戻り、ゼロからイスタリフ焼きの生産を再開しようとしていた陶工 13 名を国際交流基金では平成 17 年度に日本に招きました。

あれから 3 年、依然として不安定な社会状況の続くアフガニスタンで、イスタリフの陶工達は少しずつ陶芸の村復興に向けて前進しています。国際交流基金では、日本の陶芸文化に対する理解を深め、陶芸技術の改善や新たな技術習得の機会を提供します。また、日本の陶芸家及び地場産業として窯業・陶芸に取り組む人々とのネットワークを構築することにより、陶芸面での日本-アフガニスタン協力関係の基礎を築くことを期待しています。今回は、前回参加した陶工のうち、最も若い、イスタリフの将来を担う陶工 2 名を日本に招へいし、前回よりも長期間じっくり時間をかけた研修を行う予定です。

【訪日中の主なプログラム】

- ・ 串原、瑞浪、土岐(岐阜) / 瀬戸(愛知)
 - 技術研修(窯製作)
 - 窯業専門校、窯業技術研究所の訪問、陶芸家・中学生との交流
- ・ 信楽(滋賀)
 - 技術研修(石膏、彫刻)、地元企業・機関の訪問、講演会

・ 東京： **研修報告会**

日時：12月19日(金) 15:00

会場：国際交流基金(ジャパンファウンデーション) JFIC スペース「けやき」
東京都新宿区四谷 4-4-1 (東京メトロ 四谷三丁目)

傍聴をご希望される方は、事前にメールもしくはお電話にて、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

【協力】

- ・ (社)日本ユネスコ協会連盟、滋賀県立陶芸の森
- ・ 愛知県立窯業高等技術専門校、瑞浪窯業技術研究所、市立串原中学校
- ・ 白瀧八洲彦(愛媛・砥部)、永岡泰則(岐阜・恵那)、青木益枝(岐阜・土岐)陶芸家
- ・ 徳地偉作(滋賀・信楽)製型士
- ・ (株)包(中野区)、大澤ガス炉商会(瀬戸市)、奥矢作勤労青少年レクリエーションセンター(恵那市)他

貴紙・誌にてお取り上げくださいますようお願いいたします。取材も歓迎いたします。

お問い合わせ

文化事業部 文化企画課

(担当)加藤 雅元(Masayuki.Kato@jpf.go.jp) 久松(Emiko.Hisamatsu@jpf.go.jp)

TEL:(03)5369-6059 FAX:(03)5369-6036